



Subaru

男声合唱団

ニュース№470

'14. 7. 20

藤後名誉団長が勇退されます

7月20日

□我らが偉大なる始祖、藤後名誉団長が「勇退」されることになり、以下の挨拶を賜りました。これ以上残念なことはありませんが、皆様にご報告申し上げます。

私の勇退

2014年7月20日

男声合唱団 昂
名誉団長 藤後博巳

私が「うたごえ」に30数年ぶりにカムバックしたのは、現役の58歳でした。入団したのは「コスモス」で、当初は好きなロシア民謡が歌えればよいという安易な気持ちでしたが、本格的に「うたごえ運動」に関わっていくそのきっかけになったのは、「関西合唱団創立40周年記念コンサート」でした。

そのプログラムにOBが組み入れられ、「関西合唱団」初代団長の岡原氏からの協力要請もあって、OB合唱団を立ち上げることになってしまい、爾後、当時は予想もしていなかった「コスモス」の再生、「河南混声合唱団」「関西紫金草合唱団」「男声合唱団昂」の立ち上げに関与して、早27年の年月が経ちました。当初は予想だにしていなかったことだけに、感慨も一入です。

とりわけ、昂の創設は私の永年の宿願でもあり、しかも、現在自他とも共に許す力をもつ合唱団に成長していることは私の誇りでもあり、自負でもあります。この紙上をお借りして、団立ち上げにご尽力くださった千秋団長はじめ旧団員のみなさん、指揮者の本並、伊藤両先生。そしてピアニストの諸先生、現団員のみなさんに改めて衷心より感謝の意を表させていただきます。

5年前、私の難聴症状と団長を後代にという思惑もあって団長を辞退し、過分にも名誉団長を授かり、これまで仲間のみなさんに支えられて頑張り抜くことができました。しかし、このごろは気力旺盛なるものの、如何せん押し寄せる年波には勝てず、難聴の進行・暗記力減退・身体の衰え等が顕著になり、したがって私の体力の限界を超えた今後の団活動は無理だと判断しました。

私の立場から、「退団」という言葉は不本意ですので、本人が言うべき言葉ではありませんが、あえて「勇退」としました。私の意とすることを理解していただきたいと思います。今後は昂のステージには立たないものの、OBの1人として陰ながら支援していくことは当然のことです。

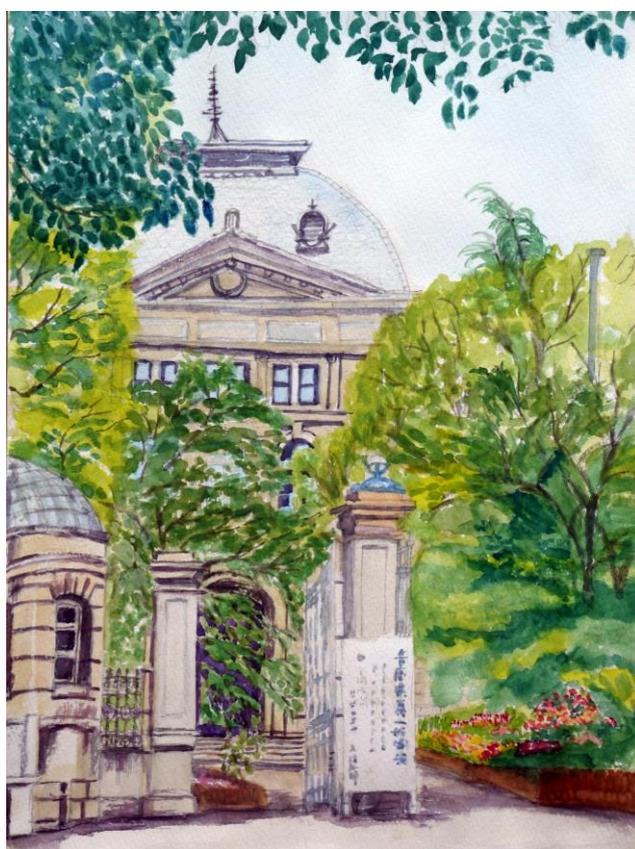
なお、私が所属している「関西紫金草合唱団」は、私のこれまでの経緯と現状を鑑みて、体力が許す限り、活動は継続していく所存です。

以上



□ 7月18日（金）の定例レッスンは佃さんの体操にはじまり、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで、「初心のうた」、つづいて合発曲の「降りつむ」と「街を返せ」をしっかりとレッスンしました。参加は全28名でした。

・・・吉川さんの画廊・・・



投稿ありがとうございました。